

2025-05-28 第2回 地域連携推進会議

出席者・参加者

- ・ (岩崎町自治会長)、 (ご家族)、 (ご家族)、
- ・ (経営に知見のある人)
- ・ 豊橋市役所障害福祉課

挨拶および事業概要

- ・ 株式会社明日葉 代表取締役 より挨拶
 - メゾン・ドゥ・ラックは地域に根ざし、12年の歴史を持つ
 - 株式会社明日葉が3年前に運営を引き継ぎ、現在17名の利用者が生活している。
 - 利用者や職員が地域社会の一員として活動することを重視

地域連携推進会議の目的と構成

- ・ 法令に基づく障害福祉サービス事業所の義務として開催
- ・ 目的：
 - 利用者と地域との関係づくり
 - 施設やサービスの透明性、利用者の権利擁護
 - 虐待防止研修や個別支援計画の状況確認
- ・ 参加者：
 - 利用者、ご家族、地域関係者、福祉・経営の専門家、市町村担当者等
- ・ 開催頻度：
 - 年1回以上の会議実施と施設訪問を実施

施設「メゾンドゥラック」の近況報告

- ・ 入居者状況
 - 合計17名（男性9名、女性8名）
 - 区分別：区分6×6名、区分5×5名、区分4×5名、区分3×1名
 - 強度行動障害認定：10名
- ・ 職員体制

- 常勤6名、非常勤6名（計12名、平均年齢60歳超、男女各6名）
- 組織運営の対策
 - 業務のスマート化、マニュアル化による新規職員教育と業務統一
 - 職員の質向上のための強度行動障害養成研修、キャリア段位自己啓発プログラム、明日葉メソッド療育支援プログラムの実施

地域交流や行事の実績

- 11月30日：愛知県社会福祉協議会主催の障害者ふれあいスポーツ大会に参加
 - 中部大学で、パラリンピック選手との競争など体験活動実施
- 1月：鞍掛神社への初詣、富士山見学（四年連続の恒例行事）
- 2月12日：豊橋駅周辺の丸八ラーメンにて貸切外食
- 2月26日：カラオケ大会による利用者と職員のパーティー
- 3月2日：生活介護事業所ソレイユの販売イベントへの参加と医王寺の檀家さんとの交流
- その他、日々の活動はInstagramや3ヶ月刊行の会報誌で発信

今後の利用者向け計画

- 7月に北海道旅行を計画（利用者希望に基づく行事）
- 地域との連携を一層深め、地域支援体制を強化予定

課題と取り組み

- 利用者の物損問題への対応
 - 物損時は家族へ連絡し、速やかな修復を依頼
 - 支援力向上による物損件数削減を目指す
- 業務内容の見直しと職員教育
 - スマート化とマニュアル化で業務の効率化
 - 新入職員や利用者の適応促進プログラムの強化
- 入居者の季節変動に伴う行動課題への対応
 - 療育プログラムを活用した行動指導

BCP（業務継続計画）の取り組み

- 感染症対策
 - 令和3年度のクラスター発生時の経験を踏まえ、利用者・職員ともに2週間以内の感染拡大防止策を実施
 - マスク、ゴム手袋の着用、衛生消毒の徹底

- 訪問看護師と浜名病院など協力医療機関、保健所との連携
- 自然災害対策
 - 第一指定避難所：東陽地区市民館、第二指定避難所：東陽中学校、施設の駐車場を避難場所として設定
 - 年3回の防災訓練実施による迅速な避難体制の確保
 - 薬の処方切れや夜間対応など、補完すべき課題の検討
- BCP委員会
 - 3ヶ月に1回開催、法人全体で対策の見直し、研修実施（毎年9月のBCP月間）

質疑応答・意見交換

- 新入居者の適応不足や季節特有の行動問題に関する意見交換
- 災害時の備蓄物資（1週間～2週間分）の具体的準備状況
- 行政・障害福祉課との連携強化に関する提案
- 非常時の炊き出し対応や在宅避難のための設備利用提案（例：学校給食事業の炊飯工場の一例をあげる）

次回会議の案内

- 次回開催予定：令和7年11月26日（水）11時開始（場所：メゾン・ドゥ・ラック）
- 次回は話し合い形式の会議。近くなれば案内状を送付予定
- 会議終了後のアンケート回収、懇親会の実施、施設内見学も予定

次の対応事項

- [] 次回地域連携推進会議の開催準備（令和7年11月26日（水）11時、案内状送付）
- [] 会議終了後のアンケート回収と集計
- [] 感染症および自然災害に備えたBCPの補完、備蓄物資（1～2週間分）の具体的準備
- [] 職員向け業務マニュアルおよびスマート化、研修プログラムの見直し実施
- [] 地域交流イベント（北海道旅行等）の詳細計画作成と実施体制の強化
- [] 行政や障害福祉課との連携体制の再確認と協議の実施
- [] 防災訓練、BCP委員会の次回開催と研修内容の最終調整